

平成 30 年度
特別養護老人ホームいずみ

事業報告書

特別養護老人ホームいずみ
デイサービスセンターいずみ
訪問介護サービスいずみ

社会福祉法人 悠々会

1. 特別養護老人ホームいずみ

はじめに

年々入所者の高齢化、介護度の重度化が進む中、平成 27 度の介護保険制度の改正に伴い、入所判定基準が要介護度3以上(特例を除く)になったことで一層中重度の要介護者の対応強化が求められるようになった。山形県並びに寒河江市特別養護老人ホーム入所指針に基づき、「入所判定会」を設置し、本人の状態や家庭環境、経済状況等を十分に協議したうえで、緊急性を伴うケースについてもその重要性を鑑み適正に対応した。

1. 入所状況の推移

① 入所サービス事業の稼働率の確保

入所定員96名に対し、年間を通して 94.86%の稼働率を確保した。

表 1	入所サービス稼働率の推移	p 7
表 2	性別年齢別・要介護度表	p 8

2. 利用者生活支援の充実強化

集団的生活条件のもとで、利用者をより深く理解し、個別的に快適な生活を支援するとともに継続した研究実践の積み重ねにより、更なる改善を図ることに努めた。

① 生活環境向上ケアの展開

居室担当介護員と入所者及び家族との好ましい人間関係の確立と生活ニーズの把握に努め、そのニーズの即応充足を図る適切な生活支援処遇を実践した。

② 生活支援処遇目標の確立

介護員・看護師・栄養士などあらゆる面からのサポートを行うため介護プランを作成し、個々のニーズに沿った処遇目標の策定、介護の効率化、責任の明確化に努めた。

③ ADLの把握

利用者の生活ニーズと生活支援処遇の原点であるADL能力の調査及び評価を実施し、状況の変化に対応するため、常に個々人の把握に努めた。

④ 認知症対策の研究的実践

精神科医師の月2回の定期検診に基づき、認知症老人の心理、対応等を学ぶと共に介護検討会議などをおして、一人一人の処遇の改善、向上に努めた。

⑤ 家族会との連携

家族会を開催し、施設と家族との意見交換により、入所者の処遇改善に努めた。

⑥ 週2回の入浴の実施

個別の身体状況にあった入浴の実施及び快適、安全、清潔な入浴に努め、リラックスした入浴への配慮を行った。

3. 精神生活の充足活動

入所者の障害の軽減ないし克服を目指し機能回復訓練、行事、レクリエーションなどの実践によって得られる精神的・身体的充足は大きなものである。

① 生活リハビリの実践

生活の全てがリハビリという視点にたち、日常生活の中で自分のできる範囲のことは、極力自立支援の気持を持ち危険の無いよう見守りと一部介助を行ない、生活リハビリを実践した。

② レクリエーションの充実

外に出る機会が少ない入所者を季節に応じ、桜やつつじなどの見学を兼ねドライブや散歩に出かけ気分転換を図った。

表 3 年間行事 p 9

③ 理美容の実施

理美容については、理容業者有志の積極的協力を頂き、定期的を実施した。

身だしなみ・衣替えなどの衣類整理などに努め、入所者の生活の向上に努めた。

4. 健やかな身体維持の確保

入所者の高齢化や介護の重度化により施設において医療は不可欠であり、健康管理が重要である。嘱託医並びに医療機関との円滑な連携を図りながら早期の治療に努めた。

診療体制の確保

① 協力病院との緻密な連携

入院治療を必要とする場合は協力病院との連携を図り、入院治療の体制を確保した。

表 4 入所者入院日数 p 10

② 主治医定期検診及び往診診療の確保

内科週二回、精神科月二回の定期日以外も必要に応じ、その他の診療科目も含め随時、適時の診療を確保した。

表 5 主治医診察(回数) p 10

表 6 往診及び受診(外来)ホーム p 10

③ 水分補給の徹底

尿路感染症対策及び脱水症状の防止は、高齢者の健康維持に最低限の必要不可欠事項であり、当施設においては、個別的対応にて日中はもちろんのこと夜間においても必要に応じ水分補給に努めた。

④ インフルエンザ等感染症について

30年度は入所者3名がインフルエンザに罹患したが、職員は手指消毒やうがいの励行を徹底し、加湿器の活用や消毒液の噴霧等により感染の拡大防止に努めた。

罹患者については個室対応、点滴等により早期に対応し重篤化した利用者はいなかった。その他ノロウイルス等の罹患者はなし。

表7 週間予定表 p 11

表8 状況報告 p 11

5. 楽しい食生活を目指して

行事食等を取り入れ、また温かいものは温かく、冷たいものは冷たく適時適温の食事を提供するとともに環境に配慮し、喜ばれる食卓づくりに努めた。

更に、安心して食べていただくために、新鮮な食材を購入し調理作業工程に最善の注意を払いながら食中毒予防に努めた。

① 利用者に合った食事形態

見た目にも食欲が出るような盛り付けを目指し、ミキサー食、軟菜食、常食の3形態での提供を継続的に実施しました。

以前の超刻み食には、素材が何かわからない物もあったが、軟菜食は何の料理かわかるようになる程度形が残り、舌でもつぶせる硬さに出来上がるように、素材の選択と調理に工夫をした。

- ② 変化に富んだ食事の提供
 - 毎月誕生会、ホーム喫茶にあった献立を実施。
 - 旬の素材を利用した献立を取り入れると共に、年間行事に合わせた献立を実施。

- ③ 経口からの食事摂取の維持

嚥下障害を持つ入所者ができる限り経口から食事摂取ができるよう個別の取り組みを行い生活の資質の向上に努めた。

- ④ 他職種との連携

介護・看護など他職種職員との密接な連携のもとに、入所者の健康状態の変化など、随時適時に食事の量及び献立内容の変更を行ない対応に努めた。

- ⑤ 衛生管理の徹底

調理器具の殺菌、厨房内の清掃を徹底的に行ない、食中毒予防のため細心の注意を払うと共に、献立内容及び食材を吟味し、勉強会を実施するなど安全な食事提供に努めた。

6. 施設強化事業

業務運営方針に基づき、施設利用者の処遇向上及び環境整備のみならず、施設職員による適切な職場環境の保全整備を含め、あらゆる面からの支援に努めた。

(1) 災害時の対応について

地域消防団及び西村山広域行政事務組合消防署の積極的な協力体制のもと計画的に防災訓練を実施することができた。

また、村山地区の高齢者施設間の災害時施設相互応援協定を締結し、災害時における施設間の連携体制を整えた。

(2) 実習・研修の受入について

将来老人福祉施設に働く人材の育成はもちろんのこと、職員自己啓発の意識付けの一環として積極的に実習生の受入を行ない、職員自らも初心に戻ることができ、良い刺激を受け現場にも良い影響を受けた。

表9 実習受入状況 p 11

(3) 職員研修について

職場にとって、人材育成が最重要項目であり、山形県社会福祉研修所及び山形県老人福祉施設協議会の主催する外部研修を中心に職員を派遣し、基礎知識の習得に努めた。

また、職場外研修への参加は、処遇に関する情報交換を行う場所としても有効に活用することができた。

表10 研修状況報告書 職場外研修・職場内研修 p 12

平成30年度 入所サービス稼働率の推移(前年度対比)

表 1 平成30年度 入所定員96名 平成29年度 入所定員80名

	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム				特 別 養 護 老 人 ホ ー ム			
	利用者数(a)	利用日数(b)	稼働可能日数(c)	利用率(b/c)	利用者数(a)	利用日数(b)	稼働可能日数(c)	利用率(b/c)
4月	90	2,594	2,880	90.07	83	2,368	2,400	98.67
5月	92	2,715	2,976	91.23	81	2,447	2,480	98.67
6月	93	2,715	2,880	94.27	80	2,396	2,400	99.83
7月	93	2,813	2,976	94.52	80	2,478	2,480	99.92
8月	92	2,798	2,976	94.02	83	2,437	2,480	98.27
9月	95	2,777	2,880	96.42	83	2,334	2,400	97.25
10月	96	2,876	2,976	96.64	80	2,362	2,480	95.24
11月	98	2,785	2,880	96.70	80	2,264	2,400	94.33
12月	97	2,854	2,976	95.90	81	2,421	2,480	97.62
1月	95	2,836	2,976	95.30	83	2,398	2,480	96.69
2月	96	2,591	2,688	96.39	82	2,210	2,240	98.66
3月	97	2,886	2,976	96.98	82	2,426	2,480	97.82
合計	1134	33,240	35,040	94.86	978	28,541	29,200	97.74

平成30年度 性別年齢別・要介護度表

表 2

(イ) 年齢別分布表

平成31年3月31日現在

性別 \ 年齢	～64	65～69	70～79	80～89	90～99	100～	合計
男性	0	1	5	11	3	0	20
女性	0	1	4	26	42	1	74
合計	0	2	9	37	45	1	94
比率(%)	0	2.1%	9.6%	39.4%	47.9%	1.1%	100

(ロ) 平均年齢

平均年齢	男 性	81.6歳
	女 性	89.17歳
	合 計	87.56歳

(ハ) 要介護度別分布表

要介護度	人数	比率(%)
要介護 1	0	0.0
要介護 2	2	2.1
要介護 3	16	17.0
要介護 4	36	38.3
要介護 5	40	42.6
合 計	94	

要介護度4・5

80.9%

平均介護度 4.2

平成30年度 年間行事

表 3

月	行 事	慰 問 な ど
4月	バスハイク 花見 誕生会	陵東中学校前通り・長岡山・八幡神社 琴操会慰問 大正琴演奏
5月	百歳の賀詞および祝金の贈呈式 上河原子供会 子供神輿 中河原子供会 子供神輿 バスハイク（つつじ狩り） バスハイク（ヒメサユリ鑑賞） 誕生会	佐藤市長来所(対象者1名) 長岡山つつじ公園 大江町大山自然公園 陵東中学校2年生による歌
6月	誕生会	なつメロ愛好会による歌
7月	誕生会	職員による歌
8月	盆供養 誕生会	龍洞寺・長泉寺（対象者39名、ご遺族8名出席） フラサークル ホヌ河北(フラダンス)
9月	誕生会	寒河江学園13名による合唱
10月	永年勤続表彰 敬老会(米寿賀詞贈呈式)・誕生会 バスハイク（菊まつり、紅葉狩り）	対象者7名 琴操会慰問 大正琴演奏 西川町菊まつり
11月	誕生会	職員による歌
12月	クリスマス会・誕生会	職員による歌
2月	節分・豆まき	

入所者入院日数

表 4

(平成31年3月31日現在)

月	人数	入院日数	月	人数	入院日数
4月	0	0	10月	1	14
5月	0	0	11月	1	15
6月	0	0	12月	2	43
7月	1	14	1月	1	9
8月	2	36	2月	2	24
9月	1	10	3月	0	0
延べ人数 11 名 実人数 8 名 平均日数 15 日					

表 5

主治医診察(回数)

(平成31年3月31日現在)

科		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	診察人数	1,816	1,837	1,902	1,904	2,078	1,665	2,041	2,133	1,745	1,744	1,756	1,859	22,480
	診察回数	21	21	21	21	23	18	22	24	19	19	19	20	248
精神科	診察人数	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	5	75
	診察回数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
計	診察人数	1,823	1,844	1,909	1,911	2,084	1,671	2,047	2,139	1,751	1,750	1,762	1,864	22,555
	診察回数	23	23	23	23	25	20	24	26	21	21	21	22	272

往診及び受診(外来) ホーム

表 6

(平成31年3月31日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	1	0	1	0	2	0	2	2	2	0	3	0	13
外科	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
整形	0	3	1	3	4	1	1	6	1	1	0	1	22
脳外科	0	1	0	0	0	0	0	1	3	1	0	0	6
泌尿器科	1	1	1	1	1	3	4	1	3	1	1	2	20
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	4
眼科	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	4
歯科	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線科	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	3	9	5	5	7	4	8	11	11	3	5	7	78

表7 週間予定表

曜日	業務内容	医師回診
月	定期処方箋	
火	定期処方箋、毎週豊岡医院	豊岡茂医師
水	オートクレーブ清掃	
木	処方薬整理	
金	隔週小原病院	小関暁之医師(第1・3)
	回診車整理、材料滅菌	豊岡茂医師
	血圧測定	
日	医務室清掃	

表8 状況報告

月	内容
5月	入所者健康診断
6月	入所者健康診断
7月	入所者健康診断
8月	職員健康診断
11月	インフルエンザ予防接種 全員
12月	入所者健康診断
3月	職員健康診断

表9 平成30年度 実習生受入状況

実習期間	依頼機関	人数	内容
5月15日～5月25日	県立山辺高等学校 2年	3	介護実習
6月18日～6月29日	県立山辺高等学校 2年	2	介護実習
8月27日～9月7日	県立山辺高等学校 3年	2	介護実習
10月1日～10月5日	県立山辺高等学校 1年	2	介護実習

平成30年度 研修報告書

表10 施設外研修

	研 修 名	月 日		主 催	参加者数
職 場 外 研 修	介護保険関連事業所説明会	4月27日		寒河江市	2
	第1回栄養士研究会	5月22日		県老施協	1
	生活相談員研究会・総会・定例会	5月23日	5月24日	県老施協	1
	喀痰吸引等研修事業	5月28～7月13日		県老施協	1
	DSC生活相談員研究会総会・第1回定例会	6月8日		県老施協	1
	村山地区特養災害時施設相互応援協定施設全体会議	6月15日		村山地区特養ホーム災害時施設相互応援協定	1
	介護保険施設等集団指導及び制度等説明会	6月27日	6月29日	県村山総合支庁	3
	生活相談員研究会・第2回定例会	8月22日	8月23日	県老施協	1
	安全運転管理者講習	9月11日		県公安委員会	1
	山形県社会福祉振興会事務担当者研修会	10月10日	10月11日	県社会福祉振興会	2
	DSC生活相談員研究会・第2回定例会	10月11日	10月12日	県老施協	1
	生活相談員研究会多職種合同研究会	11月8日	11月9日	県老施協	1
	西村山管内特別養護老人ホーム施設長会議	11月28日		大寿荘	1
	通報・備蓄品調達訓練	11月22日		村山地区特養ホーム災害時施設相互応援協定	1
	社会福祉法人決算セミナー	11月29日		県老施協	1
	DSC生活相談員村山ブロック研究会	12月14日		県老施協	1
山形県老人福祉施設協議会特養部会村山地区施設長会議	2月4日		村山地区特養部会	1	
村山地区特養等災害時施設相互応援協定防災訓練	3月8日		村山地区特養ホーム災害時施設相互応援協定	1	

施設内研修

職 場 内 研 修	研 修 名	月 日		対 象 者	参加者数
	訪問介護員研修	月1回		訪問介護員	4名
	介護検討会	適宜		介護職員	
	全体会議	3月22日		全職員	47名

2. デイサービスセンターいずみ

1. 利用実績

デイサービス利用状況

表 11	各月利用実施状況 (利用者数・前年比)	p 14
表 12	介護度別利用状況	p 14

① 利用者のニーズへの対応

定期の利用日以外や時間外など多様化するニーズに対応した。

② 指定居宅介護支援事業所及び関係機関との連携

居宅介護支援事業所及び関係機関と密に連携を図り通所介護の利用促進に努めた。また、介護予防対象者については寒河江市地域包括支援センター他、関係機関との連携に努めた。

2. 各種サービスの充実

社会環境及び身体状況を含む多様化した利用者ニーズをよりの確、迅速に把握することによりサービスの充実に努めた。

① リハビリを兼ねたレクリエーションを利用者の身体状況、精神状況に合わせて実施した。

② 多様化したニーズ(利用日の変更や複数回数利用等)に対し、個別に対応した。

③ 「デイサービスいずみ通信」(次月の行事予定、いずみの近況、介護保険の連絡事項などを掲載 月 1 回)、連絡帳等を通して利用者、介護者との連絡を密にし、開かれた施設を目指し情報提供に努めた。

デイサービス利用状況

表11 各月利用実施状況（利用者数・前年比）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成 29 年度	実施日数	25	27	26	26	27	26	26	26	25	25	24	27	310
	延べ利用者数	327	347	338	329	342	358	350	316	282	250	261	311	3811
	平均利用人数	13	13	13	13	13	14	13	12	11	10	11	12	12.29
平成 30 年度	実施日数	25	27	26	26	27	25	27	26	25	25	24	27	310
	延べ利用者数	319	336	304	329	310	298	315	312	295	272	275	299	3664
	平均利用人数	13	12	12	13	11	12	12	12	12	11	11	11	11.82

表12 介護度別利用状況

(H31.3.31現在)

	男	女	合計
事業対象者	0	3	3
要支援1	0	0	0
要支援2	0	1	1
介護度1	0	9	9
介護度2	2	9	11
介護度3	0	6	6
介護度4	1	0	1
介護度5	0	3	3
合計	3	31	34

3. 訪問介護サービスいずみ

1. 基本方針

居宅支援事業所等との連携を図り、利用者の在宅サービス計画に基づき、利用者及び介護者を援助し、利用者から信頼されるようサービスの提供に努めた。また、特定事業所としての体制を整え、資質の向上とサービスの充実に努めた。

2. 活動内容

介護保険制度に基づき身体介護(食事介助・入浴介助・排泄介助・清拭・体位変換)生活援助(買物・調理・掃除・洗濯)の適正なサービス提供に努めた。

寒河江市と生活支援・ホームヘルプサービス事業の委託契約を結んだ。

3. 利用者要介護状態区分

表13

(単位:人)

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
要支援2	2	2	2	2	3	3	3	1	1	1	1	1
要介護1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2
要介護2	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4
要介護3	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
要介護4	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1
要介護5	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1
合計(名)	14	14	12	11	13	13	12	11	12	12	11	11

4. 提供サービス種類別利用状況(介護予防含まず)

表14

種類 月	介護保険該当				介護保険外
	身体介護	生活援助	身体・生活	合計	生活援助
	訪問回数	訪問回数	訪問回数	訪問回数	訪問回数
4月	102	98	12	212	0
5月	96	95	13	204	0
6月	125	83	14	222	0
7月	112	74	13	199	0
8月	114	83	19	216	0
9月	94	81	24	199	0
10月	87	105	23	215	0
11月	83	89	22	194	0
12月	101	82	18	201	0
1月	107	88	8	203	0
2月	90	93	10	193	0
3月	91	100	13	204	1
合計	1,202	1,071	189	2,462	1
昨年実績	984	1,077	153	2,214	0

訪問介護利用実績(介護予防含む)

表15 介護保険

月	29年度			30年度		
	ヘルパー数	利用実人数	訪問回数	ヘルパー数	利用実人数	訪問回数
4月	4	15	232	4	14	234
5月	4	15	245	4	14	230
6月	4	15	207	4	12	248
7月	4	14	215	4	11	225
8月	4	15	218	4	13	246
9月	4	15	217	4	13	232
10月	4	14	228	4	12	251
11月	4	14	183	4	11	219
12月	4	13	177	4	12	221
1月	4	14	173	4	12	223
2月	4	13	182	4	11	213
3月	4	15	219	4	11	225
合計			2,496			2,767

市からの委託実績なし